

ハイキング部だより



第225回

令和4年(2022年)12月3日(土)～御堂筋のイチョウ並木を歩く

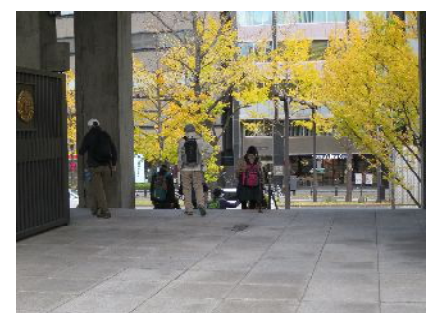
コース:福島駅～難波筋～靱公園～立売堀3丁目～御堂筋～船場～
南御堂～北御堂～淀屋橋～大阪駅(約7キロ)

参加者 18名

12月3日(土)晴 第225回ハイキング実施、参加者18名。気温は低いようでしたが天候も良く歩くには最高のコンディションとなりました。

10時JR環状線「福島駅」をスタート。難波筋を30分ほど歩いて靱公園に到着。靱公園はケヤキ並木とバラ園が整備された都心のオアシスです。戦後、連合軍は四ツ橋筋からあみだ池筋までの京町堀川と海部堀川に挟まれた細長い区域約3万坪を摂取し、占領軍の飛行場としました。その後大阪市に返還され1955年に靱公園として開園しました。

少し休んだ後難波筋をさらに20分ほど南へ歩いて新町南公園へ、ここで昼食にしました。お湯を沸かして温かい味噌汁とコーヒーを飲み、食後「旅愁」や「里の秋」や「小さい秋みつけた」などの唱歌を歌いました。地下鉄「鶴見緑地線・西大橋駅」のところから長堀通を東に歩き「心斎橋駅」から御堂筋を北に歩きました。南御堂に寄り、北御堂のところでバックに黄色に染まったイチョウ並木を入れて写真を撮りました。南御堂(難波別院)と北御堂(津村別院)は同じ浄土真宗ですが、東本願寺の難波別院が南御堂で、西本願寺の津村別院が北御堂です。その後淀屋橋で京阪電車に乗る人と大阪駅方面に向かう人との分かれ午後2時ごろ解散しました。



北御堂から黄色に染まったイチョウ並木をバックに



北御堂から黄色に染まったイチョウ並木をバックに



靱公園バラ園



新町南公園で昼食



味噌汁とコーヒーをいただく



新町南公園で



食後、唱歌を歌う



南御堂(難波別院)



難波神社の大楠



御堂筋のイチョウ並木



淀屋橋で解散

第225回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 御堂筋のイチョウ並木を歩く ～

日 時:令和4年12月3日(土) 10時 JR環状線「福島駅」集合

コース:福島駅～難波筋～靱公園～立売堀3丁目～御堂筋～船場～
南御堂～北御堂～淀屋橋～大阪駅(約7キロ)

コロナ等の事情が許せば終了後忘年会をやりようと思っておりましたが、依然として感染者が増加傾向なので忘年会なしとしますのでご了承下さい。

幅約43.6m 梅田～難波間の約4キロを結ぶ御堂筋が完成したのは昭和12年(1937年)5月でした。歩道、車道、緑地帯が整然と区画され歩道と緑地帯にイチョウが植えられました。竣工時926本が植えられましたが現在も830本が残っています。

御堂筋のイチョウ並木は近代大阪を象徴する歴史的景観として大阪市指定文化財に指定されています。晩秋には黄色の並木道となって美しい景観となります。一方ぎんなんの匂い対策として植え替えの時は雄(おす)の木に、また夜間にぎんなん落としをしをしたりご苦労があるようです。



御堂筋のイチョウ並木